

株式会社トミー  
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

お問い合わせ先  
TEL 03-3693-9033

ホームページアドレス  
<http://www.tomy.com>

(事業報告書などのIR情報も当社のホームページでご覧になれます。)

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会については毎年3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 配当受領株主確定日 毎年3月31日及び中間配当を行うときは9月30日
- 1単元の株式の数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行される日本経済新聞
- 名義書換代理人 中央三井信託銀行株式会社  
東京都港区芝三丁目33番1号
- 同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- 郵便物送付及び電話照会先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
03(3323)7111(代表)
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

DREAM  
2004



Message  
Topics  
Report  
Network  
History  
Summary

第54期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

**TOMY**  
Dream Energy



株式会社トミー

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちトミーグループは、「21世紀のおもちゃ」として「新しい遊びの価値を創造」することを企業ビジョンとしてかけ、当期より新たな飛躍に向けた「中期経営計画」をスタートさせました。「利益ある成長」を目標に、売上・収益力の拡大、高い効率性を追求する計画であり、上記ビジョン実現に向け、中期戦略にもとづき様々な施策に取り組んでまいりました。

## 中期経営計画進捗状況

### I 事業戦略

#### ①事業ユニットの創造

10月に「デジタルギア事業部」、「雑貨JV準備室」、「アパレルチーム」を新設いたしました。「デジタルギア事業部」は今話題のデジタル技術とトミーのエンターテインメントノウハウを融合し、高品質・高機能で実用性の高い遊び心をもったデジタル商品を開発してまいります。「雑貨JV準備室」は当社とラナホールディングス(株)共同出資による雑貨の企画販売会社の設立準備室であり、当社が保有するトイビジネスのノウハウならびにトミカ・プラレール・黒ひげ危機一発・ポケットモンスター・ディズニーなど多数の優良なコンテンツと、ラナグループが保有する雑貨ビジネスノウハウを共有することにより、雑貨領域において新規事業基盤を構築します。「アパレルチーム」も同様に当社が保有する多数の優良なコンテンツを活用し、アパレル領域においてブランドビジネスを推進してまいります。

#### ②年齢に関係ない事業群による市場の創出

AA(エイジレスエイジ)プロジェクトチームを事業部門化し、販売ルートの開拓、マーケティング活動を実施しております。「のほほん族」の成功ノウハウを活かし、特にライフスタイルから発想した「チャッタ」、「おやすみユメル」などのエイジレスエイジコンセプト商品を開発しました。\*エイジレスエイジ:年齢に関係のないということ。

#### ③コンテンツ事業の成功

ポケモン事業部を新設し、ライセンスとの協働体制を強化し、ポケモン及びポケモンビジネスの更なるブラッシュアップに努めます。また、ZOIDSはTVアニメを中心に更なる定番化のためのストーリー化をメディアと共同で進め、トミカ・プラレールなど既存コンテンツのブラッシュアップを図っております。さらに、強化されたコンテンツをスピーディにグループ横断的に展開し、雑貨やアパレルを含むより広い事業領域で回収する体制を構築してまいります。

#### ④ディズニー事業の成功

ディズニー玩具のカテゴリーをより強化するため、トレーディングカードゲームなどの充実を進めております。

#### ⑤北米拡販・中国参入

北米地域において、トーマスを軸にカテゴリーの定番化を推進し、北米市場に橋頭堡を確立すべく、さらにマーケティング機能を強化いたしました。今期は特にトーマスコンテンツに力を入れグローバル市場を攻略してまいります。また、今後販売拡大が期待できる中国市場においては9月に「多美玩具貿易(上海)有限公司」を設立し、販売拠点といたしました。

### II 機能戦略

#### ①販売・流通戦略

営業政策面で組織横断的な営業戦略会議を設置し、市場の変化に即応するためトイ事業を中心としたグループ全体の営業方針・流通戦略の立案推進を行っております。

#### ②物流戦略

物流業務の再構築プランに沿って、輸入オペレーションの一元管理を開始したことにより、コスト削減につながっています。

#### ③財務戦略

成長戦略に必要な資金の調達と財務体質の強化を図るため、平成16年6月に第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行し、70億円調達いたしました。設備資金に30億円、新規事業用資金に10億円、残額を運転資金に充当する予定です。

当社は、お客様に対して常に高品質で安全性の高い商品を提供することを経営の最重要課題のひとつとして位置付けております。平成16年2月のマグナム・パトローラーの事故を真摯に受け止め、「安全・環境統括室」を新設しお客様の視点で安全性の観点から商品仕様見直し、製品安全基準の改訂を行なうとともに、「安全・品質情報チーム」による商品別の安全・品質情報の収集、分析および開示を含めた、商品の安全性向上を最優先とする未然防止システムの再構築を進めております。8月のポケットモンスターぬいぐるみに関する一部商品自主回収・検針検査に関しましては、製造委託先の工場

管理体制の強化ならびにトミーグループ全体の商品検査体制の見直しを行ない、再発防止と信頼の回復に向け全社をあげて取り組んでおります。

本年はトミーグループ創業80周年でございます。私たちトミーグループは、創業から脈々と受け継がれている企業理念、すなわち「われらの優良な商品で世界の市場をにぎわせよう」「誠意と努力は他を益し自己の幸福の基となる」にもとづき、時代を創り、時代に応える「新しい遊びの価値を創造」してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
富山 幹太郎

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary

## ロンドンっ子も惹き込まれたトミー80年の歴史

世界有数の老舗玩具店 英国「Hamleys」のウィンドウを彩った玩具たち



1.ロンドンの街並みと金属玩具 2.モダン化した家庭とトミーの黄金期を支えた玩具 3.ディスコ風のステージを楽しむエレクトロニクス玩具 4.サンタの工場と現在イギリスで人気の玩具 5.時代を超えて、おもちゃは全ての人々の心を豊かにする 6.クリスマスムード高まるサンタクロースのイルミネーション

② 2004年11月7日、50年の歴史を誇るRegent Streetのクリスマスイルミネーションの点灯式がにぎやかに開催されました。しかし今年、イルミネーションと同じくらいロンドンっ子の注目を集めたのは、Hamleysのウィンドウという舞台を彩った、80年間世界の市場を賑わせ続けたトミーのおもちゃの数々でした。Hamleysはブランドショップが軒

を連ねるロンドン最大の目抜き通りRegent Streetに面して建つ、世界でも有数の老舗玩具店です。トミーは、1982年のトミーUK設立以来、特にベビー・プリスクール分野での評価が高く、イギリスでは5本の指に数えられるメーカーへと成長しています。ここHamleysでも、プリスクール商品を販売する2階フロアの1/4はトミー商品で埋め尽くされ、イギリスの親子には「TOMY」

ブランドはとてまなじみの深いものとなっています。Hamleysのウィンドウを飾る…これは世界中の玩具メーカーにとってこの上のない名誉なことであり、特に今回のようにメインウィンドウすべてをひとつのメーカーの商品によって飾られることは過去にも例がなく、トミーの独創的なおもちゃ創りとイギリスでの実績が評価されてのスペシャルプレゼントとなりました。

11月7日16時30分(現地時間)、親子連れやカップルなど大観衆が見守る中、富山社長出席のもと、ウィンドウのオープニングセレモニーが華やかに開催されました。カウンタダウンとともに花火が打ち上げられ、店舗壁面を飾るサンタクロースのイルミネーションの点灯とともにウィンドウの幕が上がリ、約50点もの玩具を魅力的に展示した4面のウィンドウが街行く人々に公開さ

れました。第一のウィンドウには、昔のロンドンの街並みと創業当時の金属玩具が、第二のウィンドウには、モダンに変化し始めた家庭の雰囲気と「トミーマジック」と称された黄金期の独創的な玩具の数々が、第三のウィンドウにはミラーボールがきらめくディスコ風のステージにロボットなどのエレクトロニクス玩具が、そして第四のウィンドウには、おもちゃが次々と生み出され子供たちの手元に届けられようとするおもちゃ工場と現在イギリスで人気の玩具の数々が、それぞれ素晴らしい演出のもとディスプレイされています。珍しいおもちゃ、懐かしいおもちゃ、そして今欲しいおもちゃの数々に、大人も子供も思わず足を止め、ウィンドウを覗きこむ姿や写真撮影を楽しむ姿が見受けられました。トミダウンとともに花火が打ち上げられ、店舗壁面を飾るサンタクロースのイルミネーションの点灯とともにウィンドウの幕が上がリ、約50点もの玩具を魅力的に展示した4面のウィンドウが街行く人々に公開

## 多美玩具貿易(上海)有限公司 設立!

“中国”巨大市場におけるトミーブランドの定着と拡販をめざして

② 2003年、中国の玩具市場は前年比127%、2770億円と言われており、アジアにおいては日本に準ずる巨大市場へと成長を遂げています。12歳以下の子供の人口が実に3億人といわれるこの魅力的なマーケットに向けて、2004年9月、100%出資の貿易会社「多美玩具貿易(上海)有限公司」を設立いたしました。急激な車社会へと変貌を遂げる中国において、トミーが得意とする「車」や「電車」といった玩具に対する子供たちの関心は非常に高く、すでに店頭什器やジオラマ展開など、魅力的な店頭ブ

ロモーションの実施によりトミーブランドは徐々に認知され始めています。今後は「トミカ」「プラレール」を始めとして、トミーが扱う多彩なコンテンツを積極的に投下していくとともに、中国オリジナルのコンテンツ開発・商品開発も推進し、トミ



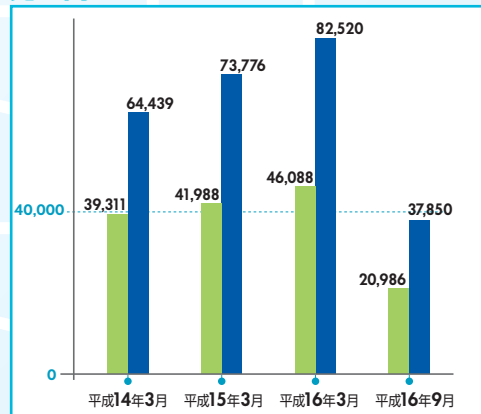
大きな市場に向けての小さな第一歩となる上海オフィス

## 連結

### 財務ハイライト

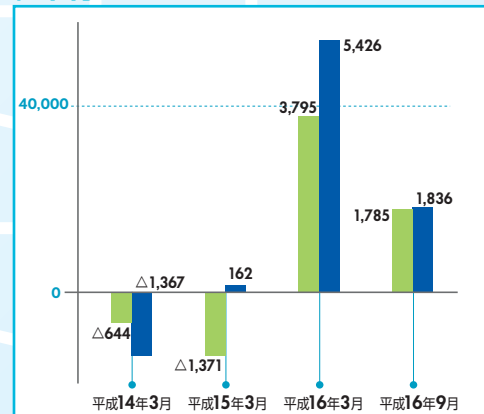
#### 売上高

(単位:百万円)



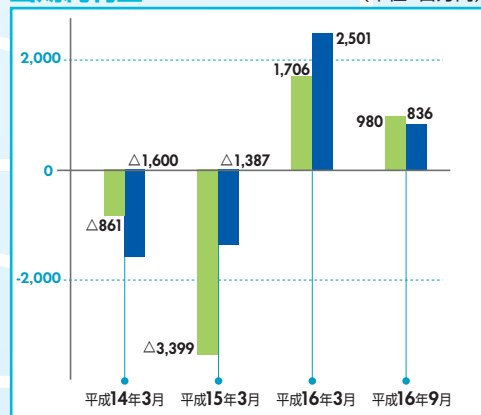
#### 経常利益

(単位:百万円)



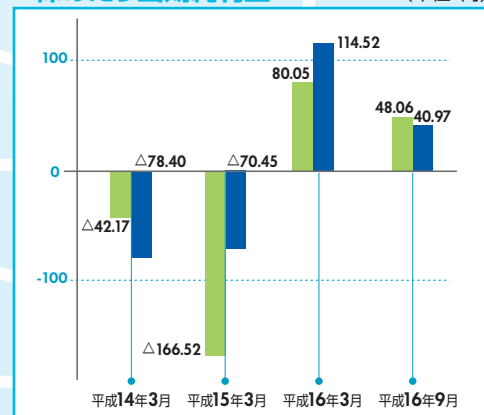
#### 当期純利益

(単位:百万円)



#### 1株あたり当期純利益

(単位:円)



### 当期業績の推移

当上期における日本経済は企業収益の改善とそれに伴う設備投資の拡大、輸出、生産の増加などにより、景気回復は見られたものの、個人消費は盛り上がり欠いたまま推移いたしました。このようななか、玩具業界は全体として、少子化、遊びの多様化が進むなか、市場を牽引するヒット商品に欠け、引き続き低調なまま推移いたしました。

業界・市場環境が厳しいなか、当社は当期を初年度とする中期経営計画に沿って、「利益ある成長」実

現のための諸施策を積極的に推進してまいりました。

事業面では、重点事業としてディズニー事業の拡大にグループを挙げて積極的に取り組んでまいりました。また、ポケモン事業もメディアミックス戦略を継続し、玩具から雑貨にいたるまで、マーケティング、商品開発などの強化を図ってまいりました。さらに今後の成長の鍵となるトイ周辺事業拡大策の一つとして、ゲームソフト分野でのコンテンツ力・営業力強化、ガチャ

事業の積極展開等を行ないました。一方、海外事業においては、特に米国販売子会社のTOMY CORPORATIONがマイクロベビーなど既存商品の不振により、売上が当初計画を大きく下回りました。

以上により、当上期は国内事業は総じて好調でしたが、米国での販売不振などにより、売上高は37,850百万円(前中間期比2.3%減)となりました。利益面では、当社単体での原価改善はありましたが、米国の不振により原価率が悪

化し、また、将来を見据えた戦略投資(研究開発、広告宣伝、金型投資など)を進めた結果、営業利益は1,850百万円(同51.8%減)、経常利益は1,836百万円(同47.0%減)となりました。最終利益の段階では「ポケットモンスター」ぬいぐるみの一部商品回収・検針検査費用を特別損失2億円として計上した結果、当期純利益は836百万円(同55.9%減)となりました。

#### 事業別連結売上高の推移

(単位:百万円、%)

	当中間期		前中間期		前期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
玩具事業	36,586	96.7	37,463	96.7	79,984	96.9
その他の事業	1,264	3.3	1,278	3.3	2,535	3.1
合計	37,850	100.0	38,741	100.0	82,520	100.0

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary

### 連結

#### セグメント別売上高の推移



トミカ峠やまみちドライブ

#### 1 玩具事業

定番商品の主力であるトミカ、プラレールは企画の拡充や売場の再整備、TVコマーシャルの活用などにより、トミカワールドの新シリーズ「トミカ峠やまみちドライブ」などを中心に売上が堅調に推移しました。

**ポケットモンスター関連商品**は、前期からの人気継続に加え、映画のヒットによる話題性が高まり、売上が大きく伸びました。また、ディズニー関連商品

の売上も **プリンセスシリーズ トイストーリー** などが堅調に推移し、雑貨トイ、カプセルトイを含む幅広い分野での商品展開により、引き続き増加しました。さらに、人気キャラクター

**「ナルト」を使用したゲームソフト**が今年も売上に大きく寄与しました。

この結果、玩具事業全体の売上高は36,586百万円(前中間期比2.3%減)となりました。



トイストーリー バス・ライトイヤー トライジェット © Disney/Pixar



プリンセスシリーズ キラキラ魔法のレッスン © Disney

#### 2 その他の事業

ポケットモンスター関連の収入などが伸びましたが、その他の事業全体の売上高は1,264百万円(前中間期比1.1%減)となりました。



プラスル

マイナン

モンスターコレクションAG



ゲームボーイアドバンス用ソフト NARUTO-ナルト- ナルトRPG © 岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ © 2003 TOMY GAME BOY ADVANCE・ゲームボーイ アドバンスは任天堂の登録商標です。



ゲームボーイアドバンス用ソフト NARUTO-ナルト- 忍術全開! 最強忍者大結集2 © 岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ © 2003 TOMY GAME BOY ADVANCE・ゲームボーイ アドバンスは任天堂の登録商標です。

**中間連結貸借対照表**

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成16年 9月30日現在	前中間期 平成15年 9月30日現在	前期 平成16年 3月31日現在
<b>流動資産</b>			
無担保転換社債型新株予約権付社債の発行による手取金を一部預金に繰り入れたため、増加しました。			
<b>固定資産</b>			
工具器具備品の新規取得が減少し、有形固定資産が減少したことや投資有価証券の売却により減少しました。			
<b>流動負債</b>			
コミットメントラインの設定により短期借入金を返済したために減少しました。			
<b>固定負債</b>			
無担保転換社債型新株予約権付社債を発行したため増加しました。			
<b>利益剰余金</b>			
今期ほぼ計画通り収益が回復したために、増加しました。			
<b>資産の部</b>			
流動資産	46,328	45,763	36,606
固定資産	10,840	11,568	10,941
繰延資産	36	30	20
<b>資産合計</b>	<b>57,205</b>	<b>57,361</b>	<b>47,568</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	20,798	28,347	18,040
固定負債	14,845	8,704	8,422
<b>負債合計</b>	<b>35,644</b>	<b>37,051</b>	<b>26,463</b>
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	293	79	267
<b>資本の部</b>			
資本金	2,989	2,989	2,989
資本剰余金	2,936	2,936	2,936
利益剰余金	17,017	15,926	16,533
土地再評価差額金	25	25	25
その他の有価証券評価差額金	84	25	135
為替換算調整勘定	△1,772	△1,663	△1,770
自己株式	△14	△9	△12
<b>資本合計</b>	<b>21,267</b>	<b>20,230</b>	<b>20,837</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>57,205</b>	<b>57,361</b>	<b>47,568</b>

**中間連結損益計算書**

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成16年4月1日 から 平成16年9月30日 まで	前中間期 平成15年4月1日 から 平成15年9月30日 まで	前期 平成15年4月1日 から 平成16年3月31日 まで
<b>売上高</b>			
ディズニー事業、ポケモン事業の拡大や、ゲームソフト等のデジタル分野は好調に推移しましたが、全体としては減少しました。			
<b>売上原価</b>			
単体ではプロダクトミックスの改善により、原価率は改善しましたが、米国販売子会社の不振により、連結ベースの売上原価率は上昇しました。			
<b>販売費及び一般管理費</b>			
広告宣伝費や研究開発費など将来のための投資を行ったため、増加しました。			
<b>売上高</b>	<b>37,850</b>	<b>38,741</b>	<b>82,520</b>
<b>売上原価</b>	<b>23,759</b>	<b>23,496</b>	<b>50,939</b>
<b>売上総利益</b>	<b>14,091</b>	<b>15,245</b>	<b>31,580</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>12,241</b>	<b>11,405</b>	<b>25,543</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,850</b>	<b>3,840</b>	<b>6,036</b>
<b>営業外収益</b>	<b>185</b>	<b>141</b>	<b>244</b>
<b>営業外費用</b>	<b>199</b>	<b>519</b>	<b>854</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,836</b>	<b>3,463</b>	<b>5,426</b>
<b>特別利益</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>52</b>
<b>特別損失</b>	<b>216</b>	<b>3</b>	<b>1,314</b>
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>1,628</b>	<b>3,465</b>	<b>4,165</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>975</b>	<b>701</b>	<b>839</b>
<b>還付法人税等</b>	<b>△53</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>△172</b>	<b>851</b>	<b>776</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>44</b>	<b>17</b>	<b>46</b>
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>836</b>	<b>1,894</b>	<b>2,501</b>

メッセージ  
**Message**

トピックス  
**Topics**

財務レポート  
**Report**

ネットワーク  
**Network**

ヒストリー  
**History**

会社概要  
**Summary**

**連結キャッシュ・フローの状況**

**連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成16年4月1日 から 平成16年9月30日 まで	前中間期 平成15年4月1日 から 平成15年9月30日 まで	前期 平成15年4月1日 から 平成16年3月31日 まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,240</b>	<b>△3,067</b>	<b>6,141</b>
うち、税金等調整前中間(当期)純損益	1,628	3,465	4,165
売上債権の増加額	△4,449	△6,551	△555
たな卸資産の増加額	△2,238	△2,319	△313
法人税等の支払額	△407	△442	△850
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△683</b>	<b>1,572</b>	<b>1,448</b>
うち、有価証券の取得による支出	△499	△599	△1,598
有価証券の売却による収入	499	3,078	4,377
有形固定資産の取得による支出	△568	△1,201	△1,714
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,989</b>	<b>△3,545</b>	<b>△13,562</b>
うち、短期借入金の純増減額	528	5,285	△4,749
長期借入による収入	—	500	600
社債の発行による収入	7,000	800	800
転換社債の償還	—	△9,965	△9,965
<b>現金及び現金同等物 中間期末(期末)残高</b>	<b>18,454</b>	<b>16,388</b>	<b>15,349</b>

当中間期末における連結ベースの現金及び現金同等物は営業活動及び投資活動の各キャッシュ・フローがマイナスとなりましたが、財務活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加し、前期末と比較して3,105百万円増加し、18,454百万円となりました。

**営業活動によるキャッシュ・フロー**

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,240百万円の支出となりました。これは、主として、売上債権の増加やクリスマス商戦に向けた新商品投入などによるたな卸資産の増加などによるものです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**

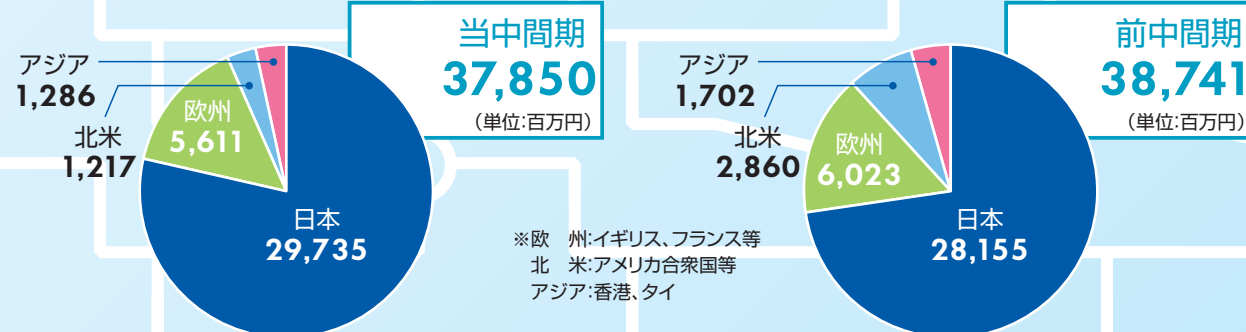
投資活動によるキャッシュ・フローは、683百万円の支出となりました。これは、主として、金型の取得によるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,989百万円の収入となりました。これは無担保転換社債型新株予約権付社債の発行によるものです。

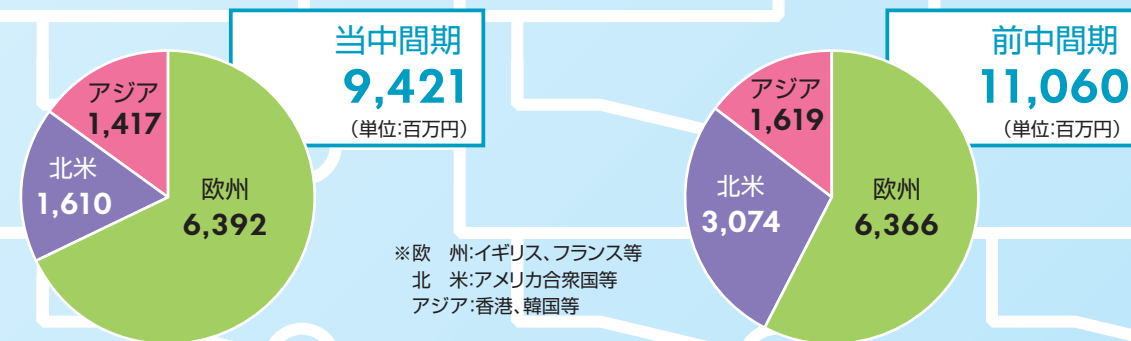
**セグメント情報(海外)**

**所在地別連結売上高**



※ 欧州:イギリス、フランス等  
北米:アメリカ合衆国等  
アジア:香港、タイ

**連結海外売上高**



※ 欧州:イギリス、フランス等  
北米:アメリカ合衆国等  
アジア:香港、韓国等

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary

中間単体貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成16年 9月30日現在	前中間期 平成15年 9月30日現在	前期 平成16年 3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	31,565	29,499	22,837
固定資産	11,972	14,121	12,795
繰延資産	36	30	20
<b>資産合計</b>	<b>43,574</b>	<b>43,651</b>	<b>35,653</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	11,392	18,173	9,914
固定負債	14,193	8,785	8,400
<b>負債合計</b>	<b>25,586</b>	<b>26,958</b>	<b>18,315</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	2,989	2,989	2,989
資本剰余金	2,936	2,936	2,936
利益剰余金	11,968	10,727	11,263
土地再評価差額金	25	25	25
その他の有価証券評価差額金	83	23	133
自己株式	△14	△9	△12
<b>資本合計</b>	<b>17,988</b>	<b>16,692</b>	<b>17,337</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>43,574</b>	<b>43,651</b>	<b>35,653</b>

中間単体損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	20,986	21,524	46,088
売上原価	13,220	13,896	29,963
売上総利益	7,766	7,628	16,125
販売費及び一般管理費	6,219	5,709	12,478
営業利益	1,547	1,918	3,646
営業外収益	595	452	913
営業外費用	357	338	764
経常利益	1,785	2,032	3,795
特別利益	5	1,492	1,538
特別損失	200	1,478	2,623
税引前中間(当期)純利益	1,590	2,046	2,710
法人税、住民税及び事業税	505	75	106
法人税等調整額	104	801	898
中間(当期)純利益	980	1,169	1,706
前期繰越利益	356	424	424
中間(当期)未処分利益	1,337	1,594	2,131

海外ネットワーク

欧州

欧州では北米に次いで大きな玩具市場が形成されております。

1982年英国に設立したTOMY UK LTD. は、フランス、ベルギーを除く欧州全域において販売を行っており、英国の幼児玩具の分野では、トップクラスの地位を誇っております。この幼児玩具部門を安定基盤として、カプセルトイの分野にも進出していました。2004年4月よりTOMY YUJIN EUROPE LTD. に同分野は移管し、集中化を進めました。移管後のTOMY YUJIN EUROPE LTD. も業績は好調に推移しております。

1985年フランスに設立したTOMY FRANCE SARL. はフランス、ベルギーでの販売を担当しております。

当中間期はベビー製品の売上は増加いたしました。マイクロシリーズの商品切り替え時期ということもあり、既存商品のマイクロペット、マイクロダンサーの売上は計画を下回りました。今後、2社の機能統合を軌道に乗せ、欧州における拡販を目指してまいります。



TOMY UK LTD.



TOMY FRANCE SARL.

アジア

アジアは当社の海外進出の最初の地であり、1970年香港に設立したTOMY (HONG KONG)LTD. がその第一歩となりました。以来、現地の玩具製造業者と技術力、品質管理能力を共有し、優れた商品を世界に提供しております。その品質の高さを裏づけるように、国際標準規格「ISO 09001」を取得、その後、環境管理に関する国際標準規格「ISO 14001」も取得しております。同社はグループ内への商品供給のほか、トミカ、プラレール、ゾイド等の定番・オリジナル商品やディズニー関連商品などのアジア向け外部販売にも注力しております。

1987年タイに設立したTOMY (THAILAND)LTD. は、自前の工場と1000人を超える従業員を有しており、ホンコン同様、トミーグループにおける一大生産拠点となっております。同社は「ISO 09002」を取得しており、コストダウン、生産効率向上に継続して取り組み、世界一効率のいい安心できる品質の工場を目指します。

また、今後販売拡大が期待できる中国市場においては9月に「多美玩具貿易(上海)有限公司」を設立し、販売拠点といたしました。



TOMY (HONG KONG) LTD.



TOMY (THAILAND) LTD.

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary



ネットワーク

Network

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

歴史  
History

会社概要  
Summary

海外ネットワーク

北米

当社は1973年から世界最大の玩具市場である北米に進出しており、1998年に、それまでの販売子会社を閉鎖し、TOMY CORPORATIONを設立しました。当初は当社グループ商品のウォルマート、トイザラスなどへの販売の支援と情報収集を主な業務としておりましたが、前々期より本格的に販売業務に取り組み、米国でのマーケティングを推進しております。当中間期はマイクロシリーズの商品切り替え時期ということもあり、既存商品のマイクロペット、マイクロダンサーの売上は計画を下回り赤字となりました。そのため北米地域において、トーマスを主軸にカテゴリーの定番化を推進し、北米市場に橋頭堡を確立すべく、さらにマーケティング機能を強化いたしました。今期は特にトーマスコンテンツに力を入れ市場を攻略してまいります。また、1999年に当社の子会社(株)ユージンと共同でTOMY YUJIN CORPORATIONを設立し、カプセルトイの販売を開始しました。売上規模はまだ小さいながら、ウォルマート等の主力店舗へのマシンの設置数の増加に伴い着実に伸びており、今後の成長が期待されます。



TOMY CORPORATION  
TOMY YUJIN CORPORATION

国内ネットワーク

本社・営業所

- 本社 〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 東日本営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-5 日幸東日本橋ビル
- 西日本営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-7 理想新大阪ビル6F
- 名古屋出張所 〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤1-20-13 秀幸ビル2F (玩具菓子事業のみ)



トミー本社

国内子会社(13社)

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| ● 玩具雑貨販売 (株)ユージン               | ● 玩具類の企画開発 (株)トミー開発センター   |
| ● 玩具雑貨卸販売 (株)ユーエース             | ● 物流サービス トミー流通サービス(株)     |
| ● 生活雑貨販売 (株)ユーメイト              | ● 書籍販売・不動産賃貸 トミー興産(株)     |
| ● 玩具輸入販売 (株)トミーダイレクト           | ● システム企画 トミーシステムデザイン(株)   |
| ● 玩具雑貨販売 (株)ハートランド             | ● アフターサービス (株)トミーゼネラルサービス |
| ● 玩具類の製造販売 (株)トミーテック           |                           |
| ● 玩具雑貨の企画販売 (株)グローテックインターナショナル |                           |
| ● 玩具雑貨の企画販売 (株)トミーリンク          |                           |

トミーグループの状況

↑ 企画・開発  
↑ 製品・サービス

お客様



**玩具販売業(海外)**  
TOMY UK LTD.  
TOMY FRANCE SARL.  
TOMY YUJIN EUROPE LTD.  
TOMY CORPORATION  
TOMY YUJIN CORPORATION  
YUJIN MICOTT KOREA CO., LTD.  
TOMY (SHANGHAI) LTD.  
TOMY (SHENZHEN) LTD.

**玩具販売業(国内)**  
(株)ユージン、(株)ユーエース  
(株)ユーメイト、(株)トミーダイレクト  
(株)ハートランド、(株)トミーテック  
(株)グローテックインターナショナル  
(株)トミーゼネラルサービス  
(株)トミーリンク

**玩具製造業(海外)**  
TOMY (HONG KONG) LTD.  
TOMY (THAILAND) LTD.

**玩具製造業(国内)**  
(株)トミーテック  
トミー流通サービス(株)

**玩具企画・開発業**  
(株)トミー開発センター

その他の事業

トミー流通サービス(株)、トミー興産(株)、トミーシステムデザイン(株)

# History

ヒストリー

## TOMY'S HISTORY (PART 4)

「会社らしい会社に——」震災の焼け跡に生まれた小さなおもちゃ工場は、いつしか世界に名をとどろかす玩具メーカーへと成長していく。好調な業績や積極的な海外展開など、黄金期を迎えたトミーを見届け安心したかのように、創業者富山栄市郎は、昭和53年9月、ついに帰らぬ人となった。

業界の発展のために、そのもてる力とすべての時間を捧げることとなった栄市郎にかわり、すでに昭和30年代からトミーの実質的な運営は、富山允就専務(当時)を中心とした若手によって執り行なわれるようになっていました。

創業50周年を迎えた昭和49年、代表取締役社長に就任した允就を待っていたのは、時代の流れの中で山積する多くの課題でした。しかしそんな状況にも、若さやバイタリティ、そしてなによりいち早くアメリカの玩具市場を自身の目で調査し、身をもって日米の玩具メーカーの格差に触れたことが、経営の舵取りを行なう允就にとって、なにもものにも代えられない貴重な体験として、その後のさまざまな施策へと活かされていったのでした。

社長就任当時、日本は第一次オイルショックの影響で高額玩具の買い控えがおこり、各メーカー、従来型の玩具一辺倒の開発から、ホビーやファンシーといった事業領域の拡大の動きが見られるようになっていました。トミーもまた、事業規模の拡大に積極的に取り組み、これに呼応するように社内体制の再構築、生産体制の拡充、国内物流の効率化、管理体制のOA化、全社的なQC活動による品質向上、そして業界に先駆けて開設した消費者センターなど、次々と先を見据えた施策を展開し、磐石な経営基盤を築きあげていきました。昭和50年代には、40年代後半から力をついてきた基礎研究が開花し、メカニズム技術を活用したおもちゃが国内外で高い評価を得るなど、数多くのヒット商品を創出していきます。「ふるっ子」「ポケットメイト」「黒ひげ危機一発ゲーム」「ウォーターゲーム」「ビッグローダー」「おりひめ」「あむあむ」…当時のトミーは、約200名もの開発部隊を擁し、斬新でユニークな商品群を次々創出し、「開発のトミー」と評されるほどに充実した時期でした。

一方、海外を見据えての動きは、昭和48年のトミー・コーポレー

ション(米国)設立により、念願であった「世界最大の玩具市場」への参入を果たし、設立当初からの順調な売り上げに支えられ、4年後にはアメリカにおけるさらなる拡販を目指し、当時米国最大級の倉庫機能をもった新工場を竣工するまでになりました。ヨーロッパに目を転じると、昭和51年のトミー・シュピールバーレン(ドイツ)、昭和57年トミー・UK(イギリス)、昭和60年トミー・フランス、と次々現地法人を設立し、ヨーロッパ市場における販売網の整備を行なっていました。さらには生産拠点としてアジア地域における生産力の強化にも、合わせて取り組んでいきました。



▲完成したトミー・コーポレーション新工場

こうして昭和50年代前半には、豊富なアイデアと高い技術力で多くのヒット商品を創出し、海外の好調もあいまって、トミーはまさにわが世の春を享受することとなります。しかしその一方で、流行産業と称されるほどに消費者の嗜好がめまぐるしく変化する玩具市場の流れの中で、テレビキャラクター商品やエレクトロニクストイといった、ハードよりソフトで勝負する商品が市場で大きな地位を得るようになり、キャラクター玩具は際物であるとして参入に積

極的ではなかったトミーは徐々に、時代の波に取り残され始めていたのです。さらに、トミーの技術の粋を集め挑戦したエレクトロニクストイ分野においては、ハード指向のもの創り体質と国内工場の維持を名目にしたコスト積み上げによる高価格商品の開発を行なっていたのでした。そして昭和50年代後半になると、順調に回っていたはずの歯車

が少しずつ狂い始め、かつてない試練の時を迎えることとなります。

会社概要

# Summary

## 会社概要 平成16年9月末現在

商号 株式会社トミー  
所在地 東京都葛飾区立石7丁目9番10号  
設立 昭和28年1月17日(創業大正13年)  
資本金 29億8,994万円  
発行済株式総数 20,419,299株  
主な事業内容 1. 各種玩具雑貨、食品付玩具類の企画・製造・販売ならびに輸出入  
2. テレビゲームソフト、乳幼児関係商品等の企画・製造ならびに販売  
3. コンピュータのソフトウェアの企画・開発・製造ならびに販売

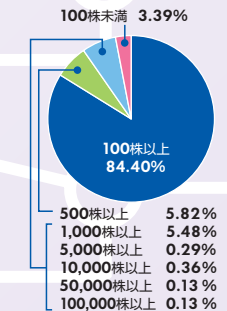
役員 代表取締役社長兼最高経営責任者 富山 幹太郎  
専務取締役 グループ国内事業担当 奥秋 四良  
兼コンテンツ事業戦略本部特命担当  
常務取締役兼最高財務責任者 三浦 俊樹  
常務取締役 グループ海外事業担当 高橋 勇  
取締役兼常務執行役員トイ事業本部長 柳澤 茂樹  
取締役(生産・技術統括担当) 岡田 三郎  
取締役 渡辺 泰行  
取締役 新美 春之  
常勤監査役 松葉 光雄  
監査役 吉成 外史  
監査役 梅田 常和  
執行役員 コンテンツ事業戦略本部長 沢田 雅也  
フロンティア事業本部長 神尾 俊二  
国際事業本部長 杉山 和彦  
管理本部長 田島 省二  
従業員 275名(出向者、嘱託等を除く)  
取引銀行 三井住友銀行 みずほコーポレート銀行  
東京三菱銀行 商工組合中央金庫  
りそな銀行 足利銀行  
東京都民銀行 千葉銀行  
中央三井信託銀行

## 株式の状況 平成16年9月末現在

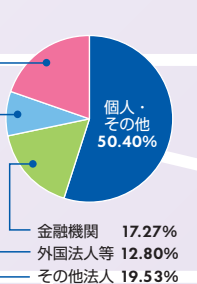
会社が発行する株式の総数 60,000,000株  
発行済株式の総数 20,419,299株  
1単元の株式数 100株  
株主数 16,811名

大株主(上位10名)		当社への出資状況	
株主名	持株数	議決権比率(%)	
有限会社トミーインシュアランス	2,260,476	11.2	
富山 幹太郎	1,963,500	9.7	
富山 長次郎	1,856,000	9.2	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,163,900	5.8	
東京中小企業投資育成株式会社	760,156	3.8	
ザ チェース マンハッタンバンク エヌエイ ロンドン	659,700	3.3	
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー505025	505,900	2.5	
富山 優	480,882	2.4	
司不動産合資会社	472,680	2.3	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	450,000	2.2	

### 所有株式数別株主数比率



### 所有者別株式数比率



メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary

メッセージ  
Message

トピックス  
Topics

財務レポート  
Report

ネットワーク  
Network

ヒストリー  
History

会社概要  
Summary